



令和 7 年

9 月 ほけんだよい

郡山市保育課



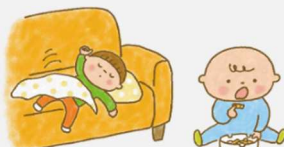
夏の暑さにも負けずエネルギーに過ごした子どもたち。そろそろ夏の疲れが出ころです。元気に活動に取り組めるよう、今一度お子さんの健康と生活習慣を見直してみましょう。また、9月9日は、『救急の日』です。小さい子どもは、好奇心旺盛で怖いもの知らず。何が危険かを予測することがまだできないため、大人が環境を整えてあげましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ **0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1・2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてみましょう。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲みこんだりといった事故がよくあります。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中のちょっと目を離したすきに溺れるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。ベランダの周辺にも、危険なものがないかチェックしましょう。



転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

赤ちゃんや子どもは転んだり落ちたりして頭を打つことがよくあります。そのときに怖いのが、頭蓋内でじわじわと出血して、時間差で症状が出ることです。頭を打ったら、注意深く様子を見てあげましょう。

すぐ病院に！

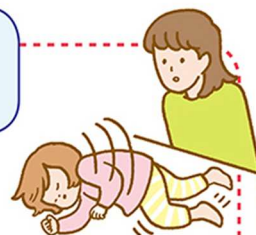


一つでも当てはまる場合

- 繰り返して吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう、左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している、出血がひどい

左の項目にあてはまらないときは次の点を守って、数日間は注意して様子を見ましょう。

- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる
頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。
- 症状が出てきたらすぐに受診する
- 夜寝ているときの様子もチェックする
- **睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。**



- 少しずつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ピクピクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない

よくある質問

Q：おうちで頭を打ったら保育所をお休みした方がいいですか？

A：頭を強く打った時は、受診をおすすめします。その後、自宅で24時間は安静にして様子をみましょう。迷ったときは保育所に相談してみましょう。

